



報道関係者各位

2015年10月1日
オーラルプロテクトコンソーシアム

＜オーラルケアの実態に関する調査＞

口臭の大きな要因は歯周病による“歯ぐき臭”！？

在日外国人の約4割が「東京オリンピックに向けて、日本人は口臭を改善すべき！」と回答。

2020年東京オリンピック、訪日外国人の増加・・・

国際化を推進する“おもてなし日本”の新たな課題に“歯ぐき臭”！？

歯ぐきの健康を通じたカラダ全体の健康を推進する団体『オーラルプロテクトコンソーシアム』は、企業・団体や有識者の方々のご協力のもと、日本国民に「歯ぐきを健康に」なって頂くため、信頼性ある情報の創出・発見を目指しています。厚生労働省「e-ヘルスネット 歯周病」によると、日本では35歳を超えると、約8割以上が歯肉炎も含めた歯周病にかかっているという調査結果が出ています。また、歯周病は口臭の大きな要因の1つとして考えられています。

今回その背景を受け、『オーラルプロテクトコンソーシアム』は、日本人20代～40代の男女600名と米国と欧州の在日外国人100名を対象に「オーラルケアの実態に関する意識調査」を実施致しました。

調査結果から在日外国人の約7割が「日本人の口臭にガッカリした経験がある」と回答しました。一方で、日本人の約8割が歯周病と言われているにも関わらず、約9割が「自分は(口臭要因の1つである)歯周病ではない」と回答し、口臭の1つの要因である歯周病について、多くの日本人に自覚がないことが明らかになりました。また、2020年に開催される東京オリンピックに向けて「日本人は口臭の改善を試みるべき！」と約4割が回答。2020年の東京オリンピックに限らず、訪日外国人が増加している日本にとって、来日する外国人に対して“おもてなし”を強化する上で、歯周病によって発生する『口臭(歯ぐき臭)』という身近な課題が浮き彫りになりました。

※歯ぐき臭⇒歯肉炎などで口腔内の細菌が繁殖した時に発生するメチルメルカプタンを主成分とする歯周病由来の臭い

【調査概要①】

- 調査対象：日本人(男女:20-40代)計600名
- 調査日：日本人/2015年8月1日(土)～8月2日(日)
- インターネット調査(地域:全国)
- 調査主体:オーラルプロテクトコンソーシアム
- ホームページ:<http://www.oralprotect.jp/index.html>

【調査概要②】

- 調査対象：在日外国人(米国:60名、欧州:40名)計100名
- 調査日：2015年8月10日(月)～8月11日(火)
- インターネット調査(地域:全国)
- 調査主体:オーラルプロテクトコンソーシアム
- ホームページ:<http://www.oralprotect.jp/index.html>

＜調査トピックス＞

1. 在日外国人の約7割が「日本人の口臭にガッカリした経験がある」と回答。

└しかし、日本人の約9割が「自分は(口臭要因の1つである)歯周病ではない」と回答。

2. 日本人に対して、在日外国人の約7割が「もっとオーラルケアを徹底してほしい」と懇願していることが明らかに…。

└さらに、2020年東京オリンピックに向けて約4割が「日本人は口臭の改善を試みるべき！」と警鐘を鳴らしている。

3. 日本人のオーラルケア実態！約7割が1日(朝・昼・夜)に2回以上行っているのに、多くの人が歯周病！？

└1日に2回以上オーラルケアを行っている人は約7割という結果に。オーラルケアの仕方に問題が！？

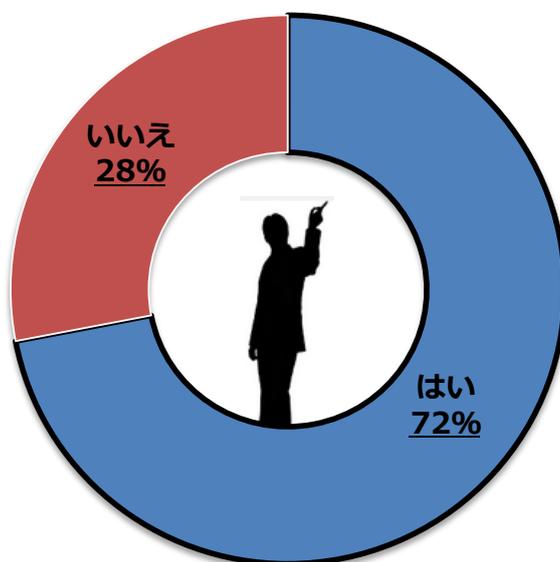
- 1) 在日外国人の約 7 割が「日本人の口臭にガッカリした経験がある」と回答！
 しかし、日本人の約 9 割が「自分は(口臭要因の1つである)歯周病ではない」と断言。

今回、在日外国人 100 名を対象に日本人の口臭にまつわる調査をした結果、約 7 割の人が「日本人の口臭にガッカリした経験がある」と回答し、口臭による不快感を持っていることが明らかになりました。

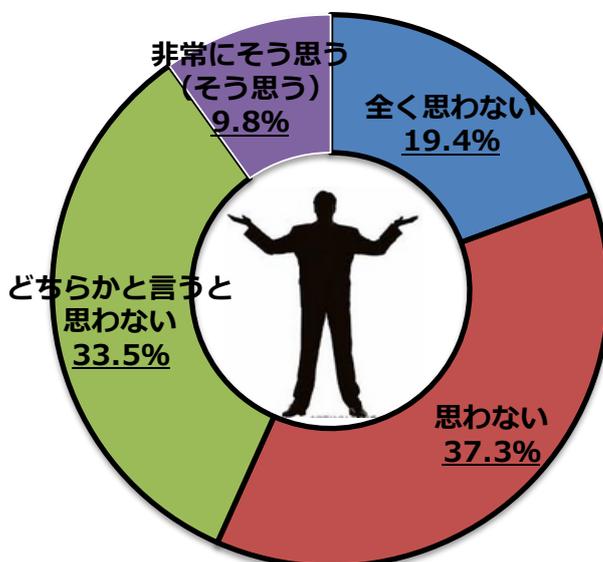
一方で、日本人 600 名を対象に、口臭の原因にもなり得る歯周病について調査をした結果、約 9 割が自己診断で「自分は歯周病ではない」と回答し、口臭の1つの要因である歯周病について、多くの日本人に自覚がないことが分かりました。

国際化を目指す日本にとって、歯周病による口臭は大きな問題であり、その実態と意識に大きな差があることが浮き彫りになりました。また、歯周病は正しいケアがなされることで、簡単に防ぐことができます。歯周病を予防するには、普段のオーラルケアの方法を一度見直すことだけでも改善の一步になるかもしれません。

【図1】▼あなたは日本人の口臭にガッカリした経験はありますか？(単独回答) n=100/在日外国人



【図2】▼あなたは自分が歯周病だと思いますか？(単独回答) n=600/日本人

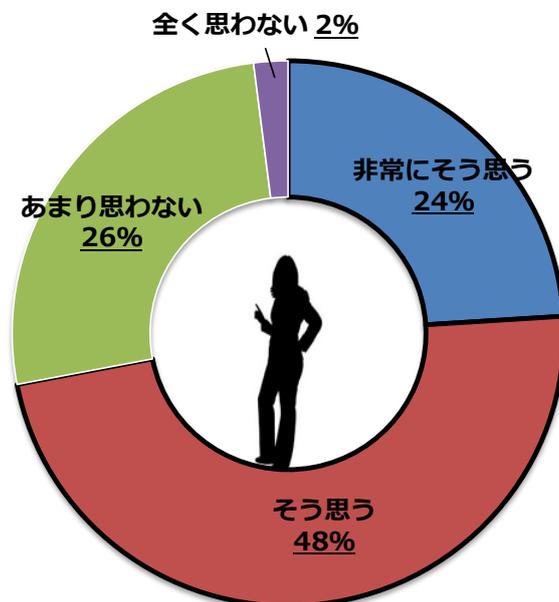


- 2) 日本人に対して、在日外国人の約 7 割が「もっとオーラルケアを徹底してほしい」と懇願。
 ↳ さらに、2020 年東京オリンピックに向けて
 約 4 割が「日本人は口臭の改善を試みるべき！」と警鐘を鳴らしている…。

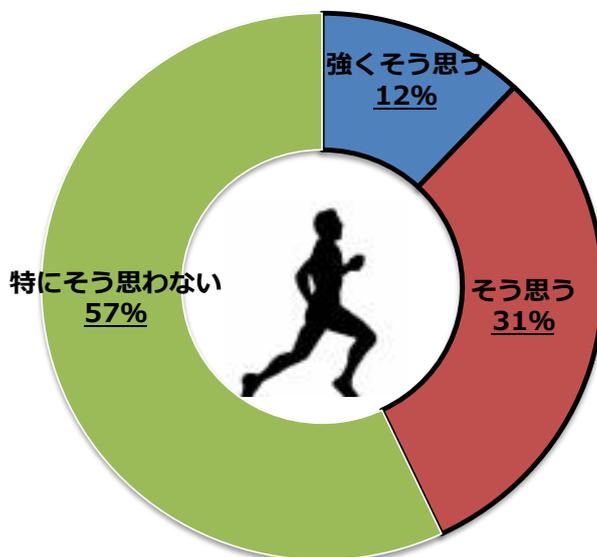
在日外国人において、約 7 割が「日本人の口臭にガッカリした経験がある」と回答し、日頃より日本人の口臭に不快感を持っていることが明らかになりましたが、同時に約 7 割が「日本人にもっとオーラルケアを徹底してほしい」と思っていることも明らかになりました。

さらに、2020 年に開催される東京オリンピックに向けて、口臭とオーラルケアにまつわる調査を実施した結果、約 4 割が「日本人は口臭の改善を試みるべき！」と回答。2020 年東京オリンピックに限らず、訪日外国人が増加する日本にとって、来日する外国人に対して“おもてなし”を強化する上で歯周病によって発生する『口臭(歯ぐき臭)』という身近な課題が浮き彫りになりました。

【図3】▼あなたは日本人にオーラルケアを徹底してほしいと思いますか？(単独回答) n=100/在日外国人



【図4】▼2020 年東京オリンピックに来る外国人に対して、エチケットの1つとして日本人は口臭の改善を試みるべきだと思いますか？(単独回答) n=100/在日外国人



3)約 7 割が 1 日(朝・昼・夜)に 2 回以上行っているのに、多くの人が歯周病！？

└ 1 日に 2 回以上オーラルケアを行っている人は約 7 割。

最も多かったのは 1 日に 2 回で約 4 割。問題はオーラルケアの仕方！？

平成 23 年歯科疾患実態調査によると、小・中学生の約4割、大人の約5割に、歯肉炎の症状が生じていることが明らかになっています。また、乳幼児および幼少期は、オーラルケアや食習慣などの基本的な歯科保健習慣を身につける時期として非常に重要であり、生涯を通じた歯の健康づくりに対する波及効果も高いと言われています。

今回、オーラルケアの頻度に関する実態調査を行った結果、1 日に 2 回以上行っている割合は約 7 割と高く、忙しい中でも多くの人がオーラルケアを行っていることが明らかになりました。また、最も多かったのは計 2 回で、約 4 割という結果となりました。

約 7 割の人が 1 日に 2 回以上オーラルケアを行っているにも関わらず、約 8 割の人が歯周病にかかっているとされています。つまり、大きな問題は回数ではなく、リスク部位がケアできていないことが挙げられます。歯周病が発症する部位で最もリスクの高いのは隣接面や最後臼歯遠心です。ここはフロスなどの専用の道具が必要となります。正しいオーラルケアの仕方を身につけることが歯周病(歯ぐき臭)の改善に効果的だと考えられます。

【図5】▼1 日にどのくらいの頻度でオーラルケアを行いますか？(単独回答) n=600/日本人

